



一 般 質 問 …… P 2～9

3月定例会

籠味議員・昔農議員・溝口議員・湯川議員

町 議 会 審 議 結 果 …… P 10～13

3月定例会

予 算 審 査 …… P 14～15

委員会の動き・意見書 …… P 16～17

表 紙 の コ メ ン ト …… P 18

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



黒岳の湯などの管理運営を4月から行っている  
戸館観光写真の大本徹さん(3月24日、層雲峡)

## 第1回町議会

# 一般質問

令和5年第1回町議会（定例1）の一般質問は、3月14日に行い、籠味議員ほか計4人が5件について町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

上川町では、昨春秋以降、機構改革に加え、DXの推進に向けて、2階などにパイロットオフィスを設置して、働き方改革を進めている。現在までの成果や実証を通して、明らかにした課題と今後の進め方を伺いたい。

さらに、先ごろ示された上川町総合計画の後期実施計画では、DX推進事業として、ペーパーレス会議、文書管理システムなどの内容があげられている。具体的な取り組みや目標を伺いたい。

また、この改革が町民の方への行政サービス向上にどう関わって

### DX推進と行政サービスの向上について



（籠味正樹議員）

### DXの推進

役場オフィス改革について

町長―住民サービスの利便性向上へ  
つながるように取り組む

いくのか、十分な周知や進め方が大事だと考えるがいかかか。

### 町長答弁

人口減少が続く中で、地域住民の暮らしや経済を守っていくため、行政課題の解決に向けたひとつの手段として官民連携による働き方改革やDX推進について、昨年度より職員ワーキンググループで検討してきた。

人を中心としたまちづくりを目指すため、各部署をまたいだ横断的な政策実施を展開する必要がある。先行事例として地域魅力創造課を新設し、職員同士のコミュニケーションの促進、業務の生産性向上、オフィスの省スペース化などを目的に、職員が固定の席を持たないフリーアドレスを試験的に実施してきた。

現状では、部署をまたいだ内部

協議がしやすくなった点、ペーパーレス会議による用紙代等の縮減など効果がでてきている。一方、職員の在籍場所が分かりづらいという課題も出されている。

フリーアドレス向き不向き部署の検証も今後の機構改革と合わせ検討を進めていく。また、住民サービスや利便性の向上を図るため、総合窓口の検討も進めたい。

DX推進については、文書管理システム導入によるペーパーレス化と電子決裁の導入により業務の効率化を図りたい。住民向けDXとしてはどのようなサービスが利便性向上につながるか、来年度検証を行い、国のデジタル田園都市国家構想交付金の活用を図り、事業展開していきたい。

### 再質問

もともと内部協議は欠かせない役場の業務であったと思うが、DXを導入することによってどうしやすくなったのか。

### 町長答弁

今まではそれぞれの担当領域を

守って仕事をしていたというのが、行政運営の実態だった。今回の職場環境の変化は、近代的な住民ニーズにも応ずることができ、斬新な取り組みになると考えている。まだまだこれからだが、今回の取り組みを通して職員の意識も変わっていくと思う。



(町長答弁)

### 再質問

職員の意識を変えろということだが、上川町総合計画に職員の研修制度があり、職員が地域を知ること、まちづくりの主体性を身に付け資質向上を図るとある。町中をオフィスにみため、公共施設や飲食店などで仕事をするこ

も、DXでできる可能性があるのではないかと。

### 町長答弁

それも職員研修の一つ方法だと思う。いろいろな方法も導入しながら、進めていきたい。

### 再質問

総合窓口を検討することだが、町長の考えは。

### 町長答弁

以前行ったことがあり、難しいという経験もしてきたが、社会がDX化によって進んでいく中で、住民サービス面で可能な限り進めていく必要がある。体制を少しずつ作り、町民の皆さんと行政の機構や運営が離れていかないよう、課題を把握し、進めていきたい。

### 再質問

一度にすべてではできないと思うので、優先順位をつけ、町民の方にどう変わっていくのかを十分に

周知をし、進めることが大事だと思うが、どうか。

### 町長答弁

一定のスケジューリングはしっかり持つべきだと思う。一方、国の交付金などの新設により、優先順位を変える場合があることも理解してほしい。

## 労働環境

### 町内産業における雇用の確立

### 町長―人材確保を進めていきたい

### 雇用、人材確保が必要



(昔農正春議員)

の提供が必要であり、これらに対応できるよう国の制度を活用するなど、町内外からの定住、移住を促進し、産業の振興を図ることが必要であり、町として対応策が必要と考えるがいかがか。

### 町長答弁

現在、上川町内の人材確保では、各産業、職種において人員が不足している状況である。

役場庁舎や金融機関の掲示板等

※注釈 DXとは、デジタルトランス・フォーメーションの略。パソコンやインターネットなどのデジタル技術を使って社会や生活を変えていくこと。企業のほか自治体での導入も進んでいる。データ分析や人工機能を活用し、住民手続きのオンライン化、自治体業務の効率化を図っている事例などがある。

でも、町内事業所5社以上が人員募集を行っているほか、各ホテル、農業法人、福祉施設などは恒常的な人員不足が生じていると聞いている。

安定的な人員確保は、企業の維持、発展はもとより、新型コロナウイルス後を見据えた事業展開を見通すことにも苦慮するものであり、町の産業振興、活性化にも大きく影響するものと懸念を抱いているところである。町がこれまで進めてきた労働政策は、新たな産業の創出による雇用の場の確保、拡大を中心とした取り組みであったが、人材確保の問題については、新たな労働課題として認識していかねければならないものと感じている。

このような状況に対応できるように、国の特定地域づくり事業協同組合制度を活用に係る質問であるが、制度内容等について調べたところ、地域の事業所が出資をして設立する協同組合が人材を確保し、労働人材として組合員事業所に派遣するという仕組みで、自治体が財政支援を行う場合、国の財政支援も受けられるものとなっている。

人口減少地域における人材確保の課題解消に向けて全国的には取り組まれている自治体もある中で、先進事例を参考にするとともに、関係団体との連携を図りながら、本町にこの制度が馴染むものを含め、調査研究を進めていきたい。



## 再質問

町内基幹産業である農業も担い手の確保が必要であり、特に林業は、人員の確保、経営の維持も含め大変心配している。観光も、観光シーズンに向け従業員の確保が心配され、多くの事業所で人員不足が大きな課題となっている。

雇用の確保に向けては、事業者による働きやすい雇用環境づくりとさらに、事業者と行政が連携を

図り共通認識をもって取り組む必要があると考える。上川町でも少子化対策が大きな課題であるので、若い世代が町外に流出することなく、また、町外からの移住施策が必要である。こういった中で国の制度等を活用し既存産業に根付いてもらえるような仕組み作りができないかと考えるが、今後の取り組みについて町長の考えを伺いたい。

## 町長答弁

雇用の問題は深刻であり、町内の主産業である農業・観光・林業のほか幅広い業種で相当悩んでいるようである。観光業界も3年と長くなると雇用の確保も厳しい状況であると思う。町としてはやれることはやらなければならぬが、国、地方をあげてやらなければ極めて難しい大きな問題であり、国に対しても要望を行っている。林業も大きな産業の柱として広げていきたいので、可能な限り支援していきたい。人員の確保ができるければ、進めようとしている施策が進まない現状におかれている。

## 再質問

問題解決に向けては、町だけではなく国の支援策等も必要と考える。今後に向け行政自体も体制を強化した中で取り組むべき問題と思うがいかがか。

## 町長答弁

町を維持、発展させるためには、各産業、企業問わずあらゆる分野で人の問題が重要である。今、町ではカフェ、店舗ができ、観光、農業中心の町としては産業価値の向上につながっていると思うので、こういったまちづくりをやりながら人材確保を進めていきたい。今後、各事業所からの意見、現状を聴きながら、対応を進めていきたい。

## 再質問

町内の既存産業の維持、活性化では、安定した人材確保が必要不可欠であるので、国の制度も含め対応策に取り組んでいただきたい。

## 町長答弁

先進的な事例を学びながら、この町に馴染むものかどうか、どうやれば活かせるのか研究、勉強したい。対応できるものであれば進めていきたい。

## まちづくり

### 町長執行方針等について

### 町長―関係団体等と連携し取り組む

### まちづくり、農業振興、除排雪の充実



(溝口久男議員)

①地域の特性を生かした活力あるまちづくりの地域ブランド化の推進と雇用創出では、アイヌ文化体験を担う人材育成を進めるとあるが、具体的計画はあるのか伺いたい。

②農業振興では、農業振興地域整備計画の更新を実施するとある

が、実態と乖離（かいり）が生じている農用地の線引き、区分の基準について伺いたい。

あわせて、今、大きな問題となっている畜産酪農について、町としての支援対策についてどう考えているのか。

さらには、政府は今年度から水田活用交付金対象農地の畑地化を進めるとして、希望面積の取りまとめを進めているが、今後の上川町農業にとっても大きな影響があると思うが、今後の対応など考えを伺いたい。

③快適環境の推進では、生活道路の除排雪について昨年11月に問

題点解決の改善策が出されたが、排雪に時間がかかるなど、まだ改善が必要と思うが、町長の考えはいかがか。

## 町長答弁

①地域の特性を生かした活力あるまちづくりについては、令和5年度予算においても、地域のアイヌ協会等と連携しアイヌ文化を活用した旅行用商品の造成等に係る予算の提案をし、引き続きアイヌ文化体験を担う人材の育成と日本遺産が持つ付加価値を生かした地域ブランド化と魅力の向上に努めていきたいと考えている。

②農業振興地域整備計画での実態との乖離については、現在、同計画において、約2309haの面積を指定しているが、今回の更新では、傾斜地にあり農用地としての利用不適地については、林地として利活用を図るよう進めていきたいと考えている。

基本的には、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき計画更新を進めていきたい。

次に、上川町の畜産、酪農状況について、高騰対策は、飼料安定

基金の活用及び国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業など国の補助制度を活用している。飼料代の高騰状況、販売価格の暴落等、今後Aをはじめ各関係機関と情報共有等の連携に努め、対策を検討していく。

次に、水田活用交付金対象農地の畑地化について、耕作者の意向を担当職員が直接聞き取り、対応について検討してきた。

今回の制度の見直しは、農家の経営はもとより、基盤整備、土地改良施設の維持管理等地域の農業に様々な影響を及ぼすものと認識している。

見直しに伴い懸念される影響を検証し、関係機関、団体と課題を共有し、地域の実情を踏まえた必要な対応を国に求めるなど、生産者が営農を継続できるよう努めていく。

③生活道路の除排雪という点については、具体的に、1点目として、従来の除雪基準の10cm以上降雪時の出動に加え、概ね20cm程度の累積があった場合にも除雪作業を行っている。

2点目として、市街地における

排雪作業の着手を早めるため、直営作業で行っていた、周辺委託路線の幅だしに係る除雪作業等可能な限り民間委託事業者へ作業をシフトした。

3点目として、市街地排雪の一巡作業を早めるため、一部区間で対応可能な民間事業者へ作業をシフトした。

また、排雪作業は、正月休みを挟む期間があり、警備員や借上げダンプなど民間事業者も休業している実態がある。

まだまだ不十分な点もあるが、今後よりよい体制づくり、その検討を進めていきたい。



(旧北の森ガーデン内に設置されている「アイヌチセ」の内部)

### 再質問

アイヌ政策推進交付金を利用するためには、市町村が立てた地域計画の策定が必要であるが、上川町では行われているのか。

### 町長答弁

問題は、行政が一人歩きして先行的にやれる話ではない。

実際のアイヌ協会や関係者と噛み合わないような事業計画を打ち立てても何の意味もない。現実的な計画をしっかりと立てたい。計画策定期間として令和5年度を位置付けて、具体的には令和6年度からその計画に沿って進めていきたい。

### 再質問

アイヌ協会や支援団体との協議を進めながら、できるだけ早く策定してほしい。

今年度予算の中で、「地域のアイヌ協会等との連携、アイヌ文化を活用した旅行商品の造成と予算を提案している」とあるが、具体的に内容を伺いたい。

### 町長答弁

具体的なもの、関係者と協議をしながら、有効な予算の使い方をしていきたい。

### 再質問

農業振興地域に指定している面積は2309haという答弁があったが、除外を予定する面積がある程度分かるのであれば教えてほしい。

### 町長答弁

行政が主体というより、あくまでも農業生産者、農業委員会、JAなどが連携し、課題を共有し合っていて、進めていくということになると思うので、具体的に数字は言えない。

### 再質問

畜産酪農支援について、私が聞いた中では「令和4年度より5年度のほうが影響を大きく受けるのではないか」という話があった。町として農業者と対話を持って実

態を把握し、対策を進めてほしいと思うがどうか。

### 町長答弁

JAからも現状についてしっかりと聞き取りを行った。我が町においては、さほど深刻な状況ではないということが確認でき、心配された子牛の価格も一時暴落したが、今は回復してきている。飼料等の高騰に伴う対応は、基金を使ってなんとかできるだろうと思う。生乳生産調整は極めて深刻だが、特殊な事情があり、令和5年度における我が町の抑制というのは無いようだ。ただ、令和6年度以降はどうなるか見通しはまだ立っていないので、しっかりと関係機関、生産者と情報を共有し、対応したい。

### 再質問

町長の答弁と私の認識とのずれが多少あるかと思う。生まれた雄の子牛の価格は確かに回復はしているが、一時の3千円、5千円、という状況からみれば、現状2、3万円までは回復している。しか

し、2、3年前の価格が10万円だから、多少回復したという現状だ。

基金についても、やはり実際に経営されている方からみれば、十分な手当になってない部分もあるということだと思う。

今後も畜産酪農家との意見交換等含めて、現状を把握してほしいと思っっている。

### 再質問

次に、水田活用交付金対策事業の畑地化については、事業を希望する耕作者の意見調査では、町内で200haほどの面積が要望としてあったと聞いている。畑地化がこのまま進めば上川町の農業にとっても大きな影響がでると考えられる。農業者と具体的な中身、今後のことも含めた検証が求められると思うが町長の考えは。

### 町長答弁

何よりも私は、生産者、あるいは関係機関、団体がどういう農業展望を今後もっていくのか、このことが非常に重要だと思っ

る。

国の政策が本当に短期間で変わってきている。我々なりに、しっかりと見極めが必要だと思っ。この町の農業をどう守って発展させていくかということだと思っ。



(町内の水田)

### 再質問

今後、水田活用交付金対象農地については、5年に1回の水稲の作付けというのを求められているのが現状。しっかりとした基盤整備をしないと水張りができない。当然ながら農家負担も増える状況の中で進めていかなければならない。町としての今後の予算化と、補助率を少しアップすること

も含めて、検討してほしいが、どうか。

### 町長答弁

今進めている基盤整備事業、私は今の全体の農業の状況を見たら、やはり期限を切るのではなく、しばらくこういう制度は必要だと思っっているし、今後も増えてくるのだとしたら、状況に応じて、500万円にこだわることなく、その年の状況を見て弾力的に対応していきたいと思っっている。

補助率の見直しについては、今は考えていない。

### 再質問

除排雪については、それぞれ対応に苦慮、努力していることが、見受けられる。今年も1月から2月にかけて1車線状態で乗用車も交わせない、緊急自動車などが通れないような状況にも見受けられた。こういう状態が続くのは避けたい。

排雪の回数を年に何回予定しているのか、3回くらい必要ではないかと思っのだが、町長の考えは。

### 町長答弁

排雪回数は、何回と正式に決まったものはないが、私は年間2回ぐらいは最低やらなければならな

いとと思っっている。  
年末に1回やって、静かな快適環境の中で住民の皆さん方に正月を迎えていただきたい。住民の暮らしに大きな影響を与えたら、決していいことではない。まだまだ不十分だと思っが、さらなる改善について進めていきたい。

町内会運営に対する支援について

溝口久男議員

近年、町内会の運営については、会員の高齢化や減少、役員となり手不足などの問題をかかえている。また、会の運営は会員の会費を基に、リサイクル事業、町からの交付金などで年間の行事等を何とかやりくりして運営しているのが現状だと思っ。

町内会年間支出の中には防犯灯の電気料がある。本来、防犯灯も交通安全灯と同じく、町が管理すべきものと思っ。町内会の負担

軽減のためにも、防犯灯の電気料は町が負担すべきと思うが、町長の考えを伺いたい。

### 町長答弁

町内会で管理している防犯灯の電気料に対する町内会負担が、最近の電気料高騰の影響により増加しているものと理解をしているので、各町内会の実情も調査し、補助等の支援を検討していきたい。

### 再質問

町内会運営に対する支援だが、電気料の負担を町でみるということを今後検討してほしいが町長の考えは。

### 町長答弁

電気料金が上がっているので、防犯灯の町内会負担は大変だと思う。

何らかの支援ができないか、早急に検討して方向性を決め、規模については、後ほど説明させてもらう機会を設けたい。

## 観光振興

### コロナ後の観光振興は

### 町長―活性化に向け議論しつつ

### 層雲峡遊歩道を見せてはどうか



(湯川秀一議員)

令和5年度町長行政執行方針の中で「北の山岳リゾート上川町」を目指すとのことである。特に層雲峡温泉では10年以上廃墟となっていたホテルの解体が動き出し、層雲峡温泉が生まれ変わる第一歩として期待がかかる場所でもある。

コロナ後の観光振興については、地域間競争が激化すると予想される中、商工、観光事業にかかわる町民の方々から新しいコンテンツ、特に層雲峡が本来持つ柱状節理（大函・小函）の素晴らしさを国内外に示す時が来ているのではないかと、多くの意見が寄せら

れている。

北の山岳リゾートにふさわしいおもてなしやインフラ整備等を含めて層雲峡遊歩道についての考え方を伺いたい。

### 町長答弁

新型コロナウイルス感染症という私たちがかつて経験したことのない事態により、住民生活はもとより、地域産業でも多大な影響があった中、層雲峡地区を中心とした観光業が大打撃を受けた。

こうしたなか、国の地方創生臨時交付金の活用による「層雲峡なんでもクーポン」等の支援策を講じ観光需要の喚起などに取り組んできた。

5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類への見直し等により人の動きが活発化すると同時に、観光需要、旅行スタイルが多様化していくと言わ

れている。

層雲峡地区においても、それらに応える観光コンテンツが必要となるため、令和4年度に環境省を中心に策定した「大雪山国立公園層雲峡地区活性化ビジョン」に基づき、層雲峡温泉街と優れた大自然に地元住民が融合し、今あるものを生かすと同時に、新たな素材が生まれ、「北の山岳リゾート」が具現化されていく議論を期待している。

小函削壁を中心とする柱状節理や数ヶ所ある滝の区域を開放できないかとのことであるが、あの場所が、層雲峡の核心部であるということとは十分に承知している。層雲峡関係者からも要望をいただいている。

当該区域までのルートとなつている町道は、岩石、土砂の崩落危険箇所として、現在通行止めの措置を取っている。再度一般開放というのは現状では難しいものと考えているが、昨年11月に関係者と現地を視察調査したところ、素晴らしい景観、景勝地であることを再認識した。一定のルールを取り決め、通行させることができないかと感じた。

そのためには、クリアしなければならぬ課題も多くある。層雲峡地区活性化に向けた今後の議論の中で、環境省、林野庁、層雲峡地区関係者等から意見をいただき、今後の対応について検討していきたい。



(小函付近の奇岩)

### 再質問

ホテル層雲の解体が進むことは上川町、層雲峡にとって大きな前進である。層雲峡にはロープウェイ、写真ミュージアム、ビジターセンター等またコロナピア、インフィニティ学園など新しい動きがあり充実をみせている。3年間の苦しみを経てコロナ後を見据えた観光については、多くの地域で動

きがあり地域連携でもあり、競合先でもある。

昨年11月の現地視察後に検討された一定のルールについては、例えば見せることができる時間、期間、人数など細かい調査検討を進めていくことが、北の山岳リゾート、上川町にふさわしいのではないかと思う。現時点での遊歩道についてクリアしなければならぬ課題について伺いたい。

### 町長答弁

ホテルの解体は進むであろう、これは国立公園の質をもっと上げていくこと、何が必要なのかそういう事業展開が可能だということである。

そして大雪山国立公園の入口は層雲峡だということを改めて確認されたのは大きなことである。

令和5年度で環境省と町が共催で主体的に今後の層雲峡の整備計画を立てようとしている。これはホテル層雲のエリアだけではなく層雲峡全体の整備である。



(姫岩など)

層雲峡の最大の見せ所は大函、小函神削壁を中心とした柱状節理側だけでなく奇岩である。何とか見せられるよう議論を1年間かけてやろうとしている。たとえば1つのルールとして状態を把握できるように管理人が常駐できないか、ガイドをきちんとつけるなど、クリアしなければならぬ課題も多く環境省、林野庁、国土交通省など地域が一丸となる思いで進めている。

### 再質問

いただいた力強い答弁は、多くの町民に勇気を与えたと思ってい

る。これから多くの方々に来町してもらい上川町、層雲峡の魅力に触れていただく機会が増えることを期待したいがどうか。

### 町長答弁

さらなる層雲峡観光の価値をひきあげる町全体の一体化の観光振興を考えていかなければならない。

「リゾート」とは単にニセコのようなところを求めているわけではない。国立公園であり、大自然であり共に生きるのが町の姿だと思う。この町の価値をひきあげていく。そこからの恵みであり、学びであり、おもてなしなど、町の人々がリゾートと結びついていく、生活とまさに一体化したようなものをみんなで考えていこう。観光地だから人々が来るといふことは結果的な話であって、その人たちに、納得してもらえようない。観光地にしていかなければならない。そういう思いを強め、共有し、まちづくりを展開していきたい。北の山岳リゾートとは、そういうイメージである。

# 議

# 案

# 審

# 議

# 結

# 果



審議結果については、全て原案のとおり「全員賛成」で可決しました。

## 3月定例会

3月2日に開会し、会期は16日まで。条例の制定5件、条例の一部改正12件、令和4年度一般会計ほか全8会計の補正予算、令和5年度一般会計ほか全8会計の予算、人事案件など48件を審議し、15日閉会。

### 付託議案

#### ■条例の制定

- ◎上川町個人情報保護法施行条例の制定について
- ◎上川町個人情報保護審査会条例の制定について
- ◎上川町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の制定について

#### ■当初予算

- ◎令和5年度上川町一般会計予算ほか計8会計の予算について
  - 予算審査特別委員会に付託

### 可決議案

#### ■財産の処分

- ◎財産（上川町移住・定住促進団地）の処分について
  - 上川町移住・定住促進計画に基づき、団地を整備した、全25区画の分譲地のうち、10区画の財産の処分。

#### 質疑内容

**Q**（籠味議員）新たに10件の分譲ということだが、過去に5件分譲してきた状況を踏まえ、新たに分譲する見込みはあるのか。

**A**（地域魅力創造課長）コロナの影響や資材高騰もあり、新築住宅の建築が伸び悩んでいる。見込みは不透明な部分もあるが、積極的なPRと広告等を行い販売の促進を行っていききたい。

**Q**（籠味議員）「カミカワーク」のページにも出ていたと思うが、年齢によっては、資金を使うことが有利なこともあり、そこも含めPRしていったほうが、分譲につながると思うがどうか。

**A**（地域魅力創造課長）特に、移住される方もターゲットに入れているので、インターネットのウェブサイト、SNSなど情報を流していきたい。町民の方にも区画の分譲を周知しながら、住宅の建築を促していきたい。

- ◎財産（愛山溪倶楽部等施設）の無償貸付について

○貸付する財産は、愛山溪倶楽部ほか4施設など、（株）りんゆう観光に無償貸付、期間は令和5年4月1日から令和8年3月31日まで。

**Q**（溝口議員）年間の入込、利用人数、経営状況など伺いたい。

**A**（産業経済課長）コロナの状況もあり、入込自体は増加していない。また、この貸付先の事業所の都合もあり、日帰り入浴を積極的に行っている。厳しい状況ではあるが、何とか運営をしている状況。

## ◎財産（旧層雲峡ユースホステル施設）の無償貸付について

- 貸付する財産は、旧層雲峡ユースホステルほか1施設など、志水陽平氏に無償貸付、期間は令和5年4月1日から令和8年3月31日まで。

## ■条例の全部改正

### ◎層雲峡青少年旅行村設置条例の全部を改正する条例の制定について

## ■条例の一部改正

- ◎職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- ◎上川町いきいき福祉健康施設設置条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

**Q**（泉議員）この条例に該当する車両や行事はあるのか。例えば、乳幼児を送迎する実態や現状あるのか。

**A**（保健福祉課長）町に該当する送迎等の車両はない。送迎が始まった場合は、備品を付け送迎予定。今後、体制について検討していきたい。

- ◎上川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◎大雪山バーデハウス設置条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町公共下水道条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町公営事業等審議会条例の一部を改正する条例について

## ■指定管理者の指定

- ◎層雲峡観光総合コミュニティセンター及び大雪山バーデハウスに係る指定管理者の指定について
  - 公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第5条及び第8条の規定に基づき、「有限会社戸館観光写真」を指定し、指定の期間を令和5年4月1日から令和8年3月31日まで。
- ◎流星・銀河の滝休憩舎に係る指定管理者の指定について
  - 公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第5条及び第8条の規定に基づき、「一般社団法人層雲峡観光協会」を指定し、指定の期間を令和5年4月1日から令和6年3月31日まで。

## ■補正予算

### ◎令和4年度上川町一般会計補正予算（第8号）

- 歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億5,761万5千円を減額し、予算総額を56億9,485万6千円とするもので、主な内容は、それぞれの科目における事業執行残、事業確定に伴う予算整理と道北バス（株）が運行する上川層雲峡線に係る広域生活交通路線維持費補助金、旭川層雲峡線に係る地域間幹線系統維持費補助金、学校保健特別対策事業、ふるさと応援基金、企業版ふるさと納税基金等の積立金の増等による補正。

## 質疑内容

### ◎旧給食センター解体について

Q (籠味議員) 旧給食センターの解体の設計委託について、予算を削除するのはなぜか。

A (教育次長) 当初は、解体の実施設計を作成する予定だったが、年度途中で、この施設の後利用について検討していくことになった。

Q (籠味議員) 年数がかなり経つ建物、安全面が心配。その対応をどう考えているか。

A (教育次長) 毎月担当係長が外壁等確認、点検している。冬季間の雪対策も行っている。

Q (籠味議員) 理事者からの指示があったようだが、どのような思いからなのか伺いたい。

A (町長) 行政パトロールで現場を見て、建物自体は非常に頑丈な建物。農協の倉庫を一つ取得し、有効に使っているが、まだ足りない。集約できる倉庫として提案をした。

### ◎黒岳の湯の施設状況について

Q (笠間議員) 黒岳の湯、バーデハウスを改修しなければならない箇所が多数あると思うが、どの程度把握しているのか伺いたい。

A (産業経済課長) 施設自体と浴室も含めて相当老朽化の改修が必要。限られた予算で今年、女性の浴場と男性の浴場を一部改修するため交互に入浴という形で改修を行った。トイレは、以前1基改修をしたが、指定管理者からも、トイレについて相当数改修が必要と言われているので、協議していきたい。

Q (笠間議員) 指定管理者としっかり打合せし、直すべきところはしっかり改修して、お客様の受入れ体制をきちんと整えてほしい。

### ◎林業人材育成事業について

Q (溝口議員) 地域おこし協力隊で林業に興味のある方を募集したが、応募がなかったと思う。今後の考え方を伺いたい。

A (産業経済課長) 何件か応募があったが、最終的に協力隊として来なかったのが実態。しかし、今年2月に、インターンとして林業人材協力隊として意思のある青年が来て、2か月間様々な林業に携わり、経験を積んでいる。来年度も上川町に来て、林業に携わりたいという意向を示してはいるので、今後内部で検討し、希望に応えられるよう進めていきたい。

Q (溝口議員) 森林組合も大変と聞いている。働き手がないので、町としても、今後も希望、興味をもっている方を募集しながら、積極的に対応してほしい。

### ◎令和4年度上川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

○歳入歳出予算の総額に、それぞれ847万円を追加し、予算総額を4億7,483万8千円とするもので、主な内容は、事業確定等に伴う予算整理と直営診療施設勘定繰出金の増額見込みに伴う補正。

### ◎令和4年度上川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

○歳入歳出予算の総額に、それぞれ84万4千円を追加し、総額をそれぞれ7,467万3千円にするもので、主な内容は、事業執行残、事業確定等に伴う予算整理と現年度分保険料の増に伴う補正。

### ◎令和4年度上川町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)

○歳入歳出予算の総額に、それぞれ725万2千円を追加し、総額をそれぞれ5億2,446万8千円にするもので、主な内容は、施設介護・居宅介護のサービス利用見込みと給付対象者の増等による補正。

### ◎令和4年度上川町国民健康保険上川町立診療所事業特別会計補正予算(第4号)

○歳入歳出予算の総額からそれぞれ434万4千円を減額し、予算総額を4億4,665万4千円とするもので、主な内容は、事業確定等に伴う予算整理とマイナンバーカードオンライン資格確認制度導入による経費の増額等に伴う補正。

## 質疑内容

### ◎入院希望者について

**Q** (籠味議員) 入院患者数を一日8人の見込みが、実績数6人となったことだが、入院希望の方は入院できていたのか。

**A** (診療所事務長) 結果、実績数は、1日あたり6.7人であったが、入院希望者を入院させなかったということはなかった。

### ◎令和4年度上川町介護医療院事業特別会計補正予算(第4号)

○歳入歳出予算の総額からそれぞれ236万3千円を減額し、予算総額を1億7,448万1千円とするもので、主な内容は、事業執行残、事業確定等に伴う予算整理と利用者自己負担金等の増額に伴う補正。

### ◎令和4年度上川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

○歳入歳出予算の総額からそれぞれ631万円を減額し、予算総額を3億2,113万8千円とするもので、主な内容は、それぞれの科目における事業執行残と事業確定等に伴う予算整理。

### ◎令和4年度上川町簡易水道事業会計補正予算(第3号)

○消費税の再計算による減額補正と事業確定による予算の整理が主なもので、収益的収入及び支出において、事業収益を33万8千円減額し、1億4,982万1千円に、支出の水道事業費用62万8千円を追加し、11億5,093万9千円。資本的収入について、470万円を減額し、5,629万4千円に、資本的支出について、103万4千円を減額し、1億1,681万5千円にするもの。

## ■協定の変更

### ◎上川町特定環境保全公共下水道層雲峡終末処理場外の建設工事委託に関する協定の一部変更について

○変更前1億4,400万円→変更後1億3,000万円 ※1,400万円の減。

## ■条例の制定

### ◎上川町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

## ■補正予算

### ◎令和4年度上川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)

○歳入歳出予算の総額に、それぞれ33千1円を追加し、総額をそれぞれ7,500万4千円にするもので、主な内容は、それぞれの科目における現年度分保険料の増に伴う補正。

### ◎令和5年度上川町一般会計補正予算(第1号)

○歳入歳出予算の総額に、それぞれ2,034万7千円を追加し、予算総額を58億7,734万7千円とするもので、主な内容は、コロナワクチン接種の実施期間延長による事業執行に伴う増額補正。

## ■選任同意

### ◎上川町監査委員の選任について

○3月31日任期満了により西本静雄氏が退任することに伴い、佐藤博幸氏を選任するため、議会の同意を求めるもの。



(佐藤博幸監査委員)

## ■審査報告

### ◎委員会審査報告について

○総務文教常任委員長から「上川町個人情報保護法施行条例の制定について」「上川町個人情報保護審査会条例の制定について」に関して、「原案どおり可決すべきもの」と決定したとの報告。

○産業福祉常任委員長から「上川町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の制定について」に関して、「原案どおり可決すべきもの」と決定したとの報告。

○予算審査特別委員長から、令和5年度一般会計ほか全8会計予算について「原案どおり認定すべきもの」と決定したとの報告。

# 算査 予審

## 令和5年度一般会計ほか全8会計の予算を審査

予算審査特別委員会（濱田委員長）は、3月2日開催の定例町議会で付託を受けた令和5年度各会計予算について、14日と15日に全会計の審査を行い、全8会計を原案のとおり決定しました。特別委員会の審議内容をお知らせします。

### 一般会計歳出

#### 広報記録写真デジタル化保存事業

**味員 籠議** ネガの老朽化によるデジタル化とのことだが、ネガすべてか。膨大な量だと思うが。

**地域魅力創造課長** 昭和41年から平成18年までの約20万枚の主な写真データをデジタル化する予定をしている。

#### 公共交通利用促進事業

**問員 笠議** 道北バスの乗車率向上が目的か。黒岳の湯無料券を全町民に配布すべきでは。



（路線バス）

**地域魅力創造課長** 第1の目標は、車の無い方の層雲峡へ行く手段の確保、第2の目標は、層雲峡への路線バス乗客数の増。さまざま

無料券は、今年度は配布しない。

#### 町有住宅等管理費

**泉員 籠議** 町有住宅の解体を行うことだが、具体的な解体計画があれば伺いたい。

**水道建設課長** 西町のブロック造のものが解体費用より修繕費が高かったため、そこを優先的に除却予定。

#### 出産子育て応援給付金事業

**味員 籠議** 支給される方の住民票の要件は。



**福祉課長 保健課長** 上川町に所在する妊婦の方。転入者には、前住所で給付されていないか確認し、1人1回の給付となる。

#### 黒岳の湯維持管理経費

**本員 宮議** 黒岳の湯の指定管理料に光熱水費は入っているのか。

**産業課長** 指定管理料に含まれている。光熱水費の高騰等も考慮している。

#### 層雲峡地区活性化イベント事業

**口員 溝議** 層雲峡100周年記念事業の予算規模と内容を伺いたい。

**産業課長** 層雲峡温泉、黒岳石室建設、黒岳登山道開設100周年を記念し、実行委員会形式

でシンポジウムなど足を運んでもらえるようなものを想定。予算規模は200万円。

### 大雪森のガーデン維持管理経費

**川湯議員** ガーデナー体制の充実も含め、目玉となるものはあるか。

**経理産業課** 令和5年度の目玉となるものはまだ聞いていない。新たに3人のガーデナーの見習いが来るので、その方々に定着していただき、今後のガーデンの活性化に結び付けたい。



(大雪森のガーデン)

### 旭町団地長寿命化事業

**米久議員** 長寿命化事業とは、具体的にどのような内容か。

### 水道建設課長

旭町団地2棟8戸の外壁がセラミックブロック造の外壁であり、目地から雨水が入らないようにもう1枚壁を作る予定。

### 町教育研究会事業

**本宮議員** 研究会の目的に100万は大きい額。当番町としての研究会開催なのか。

### 教育次長

昨年より増額しているのは、コロナ対策緩和の状況を踏まえ、小中学校の先生各1人、先進地視察研修の実施を行い、上川町の教育に生かしてもらおうもの。

### 図書館の利用時間延長

**川湯議員** 月に1度でも、夜間図書館など利用時間の延長ができないか。

### 教育次長

人員の配置など、課題も出てくるので、検討しながら、進めていきたい。

### スポーツ・チビッツ少年団活動事業

**山口議員** 子どもが少ない中、少年団活動が維持できるか、指導者の現状を含め今後の対応を伺いたい。



### 教育次長

野球少年団は、指導者はいらるが子どもが少ない。陸上少年団は、指導者が続けられる状況になく、今年度で終了。基礎体力教室は、令和5年度に限り継続。今後は、指導者の確保、子どもたちの運動する機会を設けることが重要だと考え、検討していく。

### 中学校新人野球大会事業

**田濱議員** 今年度はこの大会に参加できるのか。

### 教育次長

中体連終了後、野球部が廃部になると事業を中止する。

## 予算審査特別委員会 総括質疑

質	疑	答	弁
ふるさと応援基金	ふるさと応援寄付から基金に積み立てる額5,600万円より、基金からの繰り入れが8,000万円になっている。令和3年をピークに基金の総額が減ってきている。このままのペースだと、いずれなくなることも考えられる。基金がなくなっても今後の予算編成はできるのか。(籠味委員)	基金は、その時の事業や財政事情により、有効に使っていきたい。また、企業との連携も進んでいる。多くの応援寄付を集められるようにしていきたい。一方、この基金は、不安定な財源だと考える。財政状況により、地方交付税によって補填(ほてん)されるルールもある。予算編成はできる。	(町長)

# 委員会の動き

## 総務文教常任委員会

### ◎付託事件審査

▽2月20日

- 上川町個人情報保護法施行条例の制定について
- 上川町個人情報保護審査会条例の制定について

### ◎所管事務調査

▽2月20日

#### 《主な調査内容》

- 道立上川高校の出願状況と今後の日程について
- ・上川中学校から10人、旭川市などから14人で、倍率が0.6倍となっていることや今後の学力検査などの日程の説明を受けた。

◆委員からは、昨年と同程度の出願者数の確保ができた要因などの質疑、意見が出された。

- 令和5年度予算に係る主要事業についてそれぞれ説明を受けた。

### ◎意見書審査

▽3月8日

- ・所管事務に関する意見書の審査について

## 産業福祉常任委員会

### ◎付託事件審査

▽2月17日

- 上川町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の制定について

### ◎所管事務調査

▽2月17日

#### 《主な調査内容》

- 大雪山バーデハウス設置条例の一部改正及び「黒岳の湯」運営管理について
- ・黒岳の湯の月額券の発行、回数券の回数と金額の変更。来年度から指定管理者による管理運営を行うことの説明を受けた。

◆委員からは、管理運営体系、設備管理などについて、質疑、意見が出された。



- 観光地づくり対策事業(DMO)について

- ・上半期の事業実績と収支見込等について説明を受けた。①層雲峡温泉の賑わいを取り戻す取り組み②層雲峡インフォメーションセンターを中核とした域内周遊観光③アドベンチャーツーリズムの推進④魅力的な映像配信と来訪者の満足度向上に関する内容などの説明を受けた。

◆委員からは、アドベンチャーツーリズムの具体的内容、電動キックボードなどで周遊できるコース整備の必要性、冷凍ドーナツの販売経緯などの質疑、意見が出された。

- 新規就農者等誘致特別措置奨励事業について

- ・主な内容としては、名称の変更、住宅助成の廃止、新規雇用就農者への助成などの説明を受けた。

◆委員からは、新規参入者、農業後継者など各種別の取り扱い、さかのぼって適用させる理由などについて、質疑、意見が出された。

- 出産・子育て応援交付金事業について

- ・国の事業に基づいて実施する事業との説明を受けた。

- 認定こども園整備事業について
- ・中央保育所の建て替えに合わせ、町内の保育機能と幼稚園機能を一元化した幼保連携型の認定こども園の整備、子育て支援センターも併設した整備などの説明を受けた。

◆委員からは、組織人員体制、雇用環境、土壌蓄熱式床暖房システムの対応などについて質疑、意見が出された。

- 地方創生推進交付金事業について

・令和3年度の事業実績や達成度の説明を受けた。

○観光関連施設（ヌクモ）の経営状況等について

・令和4年度上半期事業実績および収支見込について説明を受けた。

◆委員からは、ヌクモの在り方、他町での取り組み事例などについて質疑、意見が出された。

○令和5年度予算に係る主要事業についてそれぞれ説明を受けた。

◆委員会としては、黒岳の運営管理、DMOの目的など、層雲峡温泉の現状や今後について、認定こども園に関する調査について意見が出された。

### ◎意見書審査

▽3月8日  
・所管事務に関する意見書の審査について

## 議会運営委員会

▽2月24日・3月10日

・第1回上川町議会定例会（定例1）の運営について

## 議会広報特別委員会

▽3月28日・4月14日  
・第189号の編集と校正について

## 全員協議会

▽2月27日  
○職員の定年引上げについて  
○第10次上川町総合計画に係る後期実施計画書について  
○青少年旅行村設置条例の全部改正について

## 議会活性化特別委員会

▽2月8日  
○議員定数と議員報酬等について

## 令和5年度予算審査特別委員会

▽3月14日～15日  
◎付託事件審査  
・令和5年度予算審査

## 意見書を提出しました

### ◆旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書

旭川空港は、国内有数の積雪地に設置しながら、国内線の就航率が全国で上位である。一方、新千歳空港は除雪作業の影響から欠航や遅延が頻発するなど、移動客に大きな支障を来していることから、旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港として積極的な活用を求めるものです。

### ◆食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書

農業は、高齢化や担い手不足に加え、食糧自給率の低下、相次ぐ大型貿易協定発効による農畜産物の市場開放で農業・農村を取り巻く情勢は厳しさを増している。

また、酪農・畜産は、飼料価格などの高騰が続き、離農を余儀なくされる生産者が続出していることから、食糧安全保障政策、食糧・農業・農村政策と酪農・畜産経営対策などを求めるものです。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣  
※各意見書の提出先は異なります。

次回定例会のオンライン動画配信サイト「YouTube」でのライブ中継と録画映像配信は6月中旬の予定です。ぜひご覧下さい。

上川町議会チャンネル（町のホームページではありません）

URL：[https://youtube.com/live/](https://youtube.com/live/GcxRO6UOM8c?feature=share)

[GcxRO6UOM8c?feature=share](https://youtube.com/live/GcxRO6UOM8c?feature=share)



（動画配信QRコード）



## 表紙のコメント

住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、市町村の公共施設の管理運営を民間に任せる指定管理者制度。4月から層雲峡の黒岳の湯などを町から指定を受け、管理運営する戸館観光写真の代表取締役である大本徹さんに話を聞いてみた。

大本さんは、学生時代に写真サークルで活動した経験を生かそうと二十歳の頃、カメラマンの求人に応募し、層雲峡で働き始めた。

「札幌から、生まれて初めて層雲峡に来た」と、働き始めた職場は「人と接する仕事が自分に合っている」。たくさんの観光客と話すことやカメラの仕事も「すごく楽しかった」。また、カメラの手ほどきを受けた当時の社長や地元の人たちは「とても親切にしてくれた」と、感謝する。

特色を生かし、新たな取り組みへ積極的に挑戦していくことが層雲峡の発展につながると考えている。自らも携わったランタンフェスティバルなどのイベントを通して、お客さんが喜んでいる様子を肌で感じたという。層雲峡では、一年を通してイベントを切れ目なくつなげる取り組みが始まっている。「層雲峡を知ってもらい、訪れてもらうきっかけづくりが大切」と、話す。

団体ツアーなどの記念写真撮影のほか、民宿、飲食店も切り盛りする。毎年、来てくれる登山客のリピーターも多く、励みになっているよう。

新たに管理運営を始めた黒岳の湯は「商店街の核施設。ふさわしい役割を果たせるよう、少しずつサービスを充実していきたい」。町民の方が「気軽に来てくれる施設にしたい」と、話す。

また、上川町に来てから結婚し、子育ても経験。「上川町は子育て環境がとてもよい。のびのびと育てることができた。あっという間に30年近くが過ぎた」と、笑顔で振り返っていた。

次の定例会は

## 町の議会を傍聴しませんか



6月中旬の開催予定です。

詳細は新聞折込チラシでお知らせします。

【問い合わせ先】

議会事務局

☎(01658)2-4064(直通)



議会広報は、

上川町ホームページでもご覧いただけます。

議会・議会広報 に対して、みなさまのご意見をお寄せください。

※広報委員(籠味、湯川、笠間、宮本、昔農)  
または、議会事務局へ 電話 (01658) 2-4064 (直通)

【ホームページアドレス】  
<https://www.town.hokkaido-kamikawa.lg.jp>

